

平成26年度

クリーニング師試験(筆記)問題

衛生法規に関する知識  
公衆衛生に関する知識  
洗濯物の処理に関する知識

9:00~10:00  
(60分)

指示があるまで開いてはいけません。

(注意事項)

- 1 解答用紙の右上の記入欄に受験番号及び氏名を記入してください。
- 2 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 3 解答の誤りを訂正する場合は、消しゴムで消して訂正してください。
- 4 解答は、1つの解答欄に1つだけ記入してください。2つ以上書くとその解答は無効になります。
- 5 試験開始後30分を経過するまでは、退室できません。
- 6 退室するときは、解答用紙を裏返して机の上に置いてください。
- 7 試験終了後、解答用紙のみを回収します。問題用紙は持ち帰っても構いません。

## I 衛生法規に関する知識

問1 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 営業者は、クリーニング所以外において、営業として洗濯物の処理を行ってはならない。
- (2) 営業者は、クリーニング所（洗濯物の受取及び引渡のみを行うものを含む。）ごとに1人以上のクリーニング師を置かなければならない。
- (3) クリーニング所を開設しないで、車両を用いて洗濯物の受取及び引渡しをすることを営業としようとする者は、都道府県知事に届出の必要はない。
- (4) クリーニング師が免許証を破り、汚し、又は失ったときは、10日以内に免許を与えた都道府県知事に再交付の申請をしなければならない。
- (5) コインランドリーの営業は、機能的に洗濯物を処理する施設ではあるけれど、洗濯機を貸与するレンタル業であるから、クリーニング業には当たらない。

問2 次の文はクリーニング業法条文から抜粋して作成したものである。文中の（ ）にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ クリーニング業法は、クリーニング業に対して、（ 1 ）等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその経営を（ 2 ）に適合させるとともに、（ 3 ）の利益の擁護を図ることを目的とする。
- ・ 営業者は、衛生措置として、洗濯物をその（ 4 ）に応じ区分して処理しなければならない。
- ・ 営業者は、洗濯物の受取及び引渡しをしようとするときは、あらかじめ、利用者に対し、洗濯物の（ 5 ）等について説明するよう努めなければならない。

ア. 社会規律	イ. 保管方法	ウ. 利用者	エ. 営業者	オ. 処理方法
カ. 環境衛生	キ. 公衆衛生	ク. 用途	ケ. 素材	コ. 公共の福祉

問3 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング所を開設しようとする者は、構造設備等の必要な事項を都道府県知事に届け出れば、翌日からそのクリーニング所を使用することができる。
- (2) クリーニング師は、免許を受けた都道府県以外では、クリーニング師としての業務に就くことはできない。
- (3) クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、10日以内に免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。
- (4) 環境衛生監視員は、クリーニング所又は業務用の車両に立ち入り、営業者の衛生措置等の実施状況を検査することができる。
- (5) 営業者に引き渡される前に消毒されていない洗濯物で、手ぬぐい、タオルについては、伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれがないので消毒しなくてもよい。

問4 次の文中の（ ）にあてはまる最も適切な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ クリーニング業法で「クリーニング業」とは、（ 1 ）又は洗剤を使用して、衣類その他の繊維製品又は皮革製品を（ 2 ）のまま洗濯することを営業とすることをいう。
- ・ クリーニング業法では、営業者の衛生措置として、クリーニング所の洗場については、床が（ 3 ）で築造され、これに適切な勾配と（ 4 ）が設けられていなければならない、と規定されている。
- ・ クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後、（ 5 ）以内に都道府県知事が指定した研修を受けなければならない。

ア. 一年	イ. 滑り止め	ウ. 不浸透性材料	エ. 排水口	オ. 溶剤
カ. 溶液	キ. 表示内容	ク. 二年	ケ. 原型	コ. 不燃性材料

## Ⅱ 公衆衛生に関する知識

問1 次の文章は、「ノロウイルスに係る吐ぶつやふん便が布団などのリネン類に付着した場合の処理について」の記述である。( )にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

リネン等は、付着した汚物中のウイルスが飛び散らないようにペーパータオルなどでできるだけ吐ぶつを取り除き、洗剤を入れた水の中で( 1 )もみ洗います。その際に( 2 )を吸い込まないように注意しましょう。下洗いしたりリネン類の消毒は( 3 )℃・1分間以上または80℃・10分間以上の熱水洗濯が適しています。ただし、熱水洗濯が行える洗濯機がない場合には、( 4 )の消毒が有効です。その後、十分すすぎ、高温の乾燥機などを使用すると殺菌効果は高まります。

布団などすぐに洗濯できない場合は、表面の汚物をペーパータオル等で取り除き、スチームアイロンで熱殺菌し、その後布団乾燥機を使うと効果的です。布団乾燥機を使うときには窓を開け、( 5 )を十分に行いましょう。

ア. 75	イ. 85	ウ. 激しく	エ. 静かに
オ. 次亜塩素酸ナトリウム	カ. エタノール	キ. 採光	
ク. 換気	ケ. しぶき	コ. 洗剤	

問2 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 消毒とは、すべての微生物を死滅させることである。
- (2) 感染性の皮膚疾患である「疥癬」の原因となる病原体は、寄生虫である。
- (3) PRTRとは、特別管理産業廃棄物のことである。
- (4) 昭和57年11月16日付け環指第157号厚生省環境衛生局長発「おしぼりの衛生的処理等に関する指導基準」には、大腸菌群、黄色ブドウ球菌が検出されないことが含まれている。
- (5) 高病原性鳥インフルエンザウイルスに感染した鳥の肉を加熱調理(全ての部分が70℃に達すること)しても、食べると感染する。

問3 次の健康に関する記述について、( ) にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

多くの国では、健康を基本的人権の一つとして捉えており、わが国においても憲法第25条で「すべての国民は、健康で( 1 )な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び( 2 )の向上及び増進に努めなければならない。」とされている。

WHO憲章によると、「健康とは、肉体的、精神的および( 3 )に完全によい状態にあることであり、単に( 4 )または虚弱でないということではない。及ぶ限り最高の健康水準を享受することは、人種、( 5 )、政治的信条、経済状態のいかんを問わず、すべての人間の基本的権利である。」と定義されている。

ア. 公衆衛生	イ. 疾病	ウ. 健康危機管理	エ. 宗教	オ. 国民
カ. 平和	キ. 社会的	ク. 文化的	ケ. 衛生的	コ. 環境保全

問4 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング所の施設で、ネズミや昆虫を駆除することは、感染症予防対策として重要である。
- (2) VOCとは、揮発性を有し、大気中で気体状となる有機化合物の総称で、光化学スモッグを発生させる原因物質の一つである。
- (3) クリーニング所は、水質汚濁防止法の特定施設にはならないので、特定施設としての届出、排水基準の遵守、測定と記録、事故時における届出などの必要はない。
- (4) 引火性溶剤を用いるドライクリーニングを営む工場は、住居系地域や商業系地域における立地(建築)の規制は受けない。
- (5) クリーニング所の営業者は、従事者が結核や疥癬にかかった場合、その従事者にはマスクや手袋を着用させる等、感染予防対策に十分配慮し、従事させる。

### Ⅲ 洗濯物の処理に関する知識

問1 次の記述について、( ) にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ ( 1 ) は半合成繊維で絹に似た光沢と深みのある鮮明な発色を特長とする。燃やすと酢のにおいがする。
- ・ ( 2 ) は合成繊維でウォッシュ・アンド・ウェア性がよく、圧倒的に衣料品の分野に使用されている。燃やすと芳香臭がする。
- ・ 繊維素材の標準的仕上げ温度は、絹では ( 3 ) °Cである。
- ・ ( 4 ) においては、もともと水に弱い衣料を水洗いする性格上、機械作用、洗剤および保護剤、時間、温度の4つの要素を複合的に考慮しなければならない。
- ・ 毛皮のクリーニングは ( 5 ) が適している。

ア. アセテート	イ. ランドリー	ウ. ドライクリーニング
エ. レーヨン	オ. 130~140	カ. パウダークリーニング
キ. 180~200	ク. アクリル	
ケ. ポリエステル	コ. ウェットクリーニング	

問2 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 糖類やデンプンの汚れは、水洗いよりもドライクリーニングで落ちやすい。
- (2) ランドリー工程のうち予洗は繊維、汚れ、糊などを膨潤させ、汚れを取りやすくする。血液のついたシーツ、油性汚れのひどいものは予洗する。
- (3) アニオン系の洗剤にカチオン系の洗剤を併用することは差し支えないが、アニオン系の洗剤とノニオン系の洗剤の併用は、イオン結合を起こして本来の効能が相殺される。
- (4) ドライクリーニングは、ランドリーと比べ衣類の形くずれは小さいが、風合い変化は大きい。
- (5) ドライクリーニングにおける再汚染の原因として、ソープ投入量不足、洗浄時間不足、フィルター不良などがあげられる。

問3 次のランドリー用助剤に関する記述について、( ) にあてはまる最も適切な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- 酸化漂白剤である( 1 )は経時とともに徐々に分解して効果が低下するので、冷暗所で保管し、なるべく早く使用する。また、この漂白剤は( 2 )、ナイロン、ポリウレタン等の繊維には使用できない。
- 漂白剤である過炭酸ナトリウムは( 3 )℃以上で効果を発揮する。
- ( 4 )は、パルプを原料としてつくられた物質で、洗浄時の再汚染防止効果が優れ、洗濯物の白さが向上する。
- ( 5 )は自己乳化型のカチオン界面活性剤が成分で、これが繊維に吸着して加脂効果を発揮する。

ア. CMC	イ. 糊剤	ウ. 麻
エ. 次亜塩素酸ナトリウム	オ. 40	カ. メタ珪酸ナトリウム
キ. ハイドロサルファイト	ク. 絹	ケ. 柔軟剤
コ. 30		

問4 次のドライクリーニングに関する記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- チャージシステムでは、ソープ濃度が0.5～1%であれば繰り返し使用しても安定した洗浄力が期待できる。
- ドライクリーニング用洗剤(ドライソープ)の働きには、洗濯物への浸透促進、不溶性汚れの除去促進、静電気の防止などがある。
- 合成皮革など乾燥しにくい衣類を石油系溶剤でドライクリーニングしたときに、乾燥が不十分のまま、その衣類を着用した場合、化学やけど(皮膚障害)が発生することがある。
- 石油系溶剤は、テトラクロロエチレンと比べてKB値(カウリプタノール値)が大きいため油溶性の汚れの洗浄力が大きく、洗浄時間を短縮できる。
- 石油系ドライ機を使用する際は、引火点が40℃未満の溶剤を使用する。